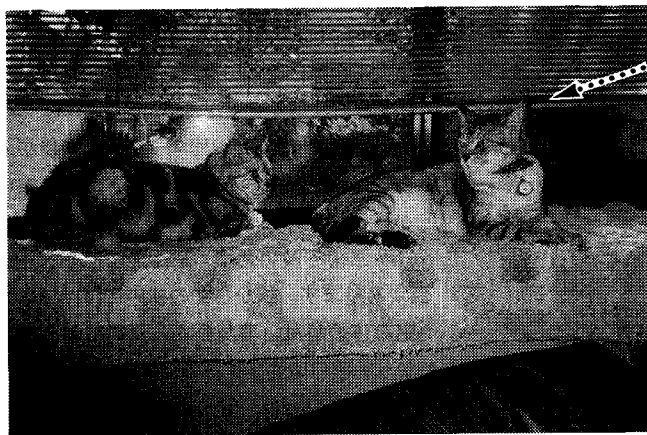




泉マウ（旧名 ビリ、右）とユキ

平成8年11月末、故郷の石川県に、2回目の遠出（特急雷鳥利用）をした時です。2回目には汽車のシートに座ってきました先輩猫のユキ（左）とは仲良くしたり、けんかしたり、姉弟そのものです。



Happy Homes

More than 660 stray animals have been rehomed through our Adoption Programme.

The following are a selection of those now in Happy and Loving New Homes.

アークで保護され里親制度を通じて新しい家庭に迎えられた動物は、過去7年間で660匹以上に上ります。お便りをいただいた里親の方からは、どれも幸せいっぱい動物とその家族の方々の写真が添えられています。ほんの一部をみなさんにご紹介いたします。

大瀬マロン

マロンがきて、1年がすぎましたが 病気もせずいつも元気なマロン君です。とてもおりこうさんです。散歩

はいつも朝昼夕方に行っています、マロンは 大の散歩好き。これから先も家族の一員として育てて行きますのでご安心下さいませ。



小椋こたろう（旧名ロビー）

6月1日にロビーの里親になりました小椋です。わが家に来てからは、「こたろう」と改名することになりました。初めは表情に余裕がなかったようですが、今では同封しました写真のとうり、生き生きとしています。私達家族にとってもこたろうの存在が大きな活力となっています。以前からアークのような施設があることは知っていましたが、実際に里親になるのは初めての事で、心になんらかの傷を負った犬たちが私たちを受け入れてくれるだろうか、私たちも本当の愛情を持って受け入れることが出来るだろうかと正直言って少し不安でした。だけどこたろうがそんな不安を全部吹き飛ばしてくれました。

大阪乗馬協会 ゴマ（ポニー、旧名マグバイ）

神戸地震で家を無くした犬君たちのためにオリバーさんが私の運動場だった所に犬舎を建てたので、私は大阪の花博記念公園にある乗馬苑の養女になり、今はゴマちゃんと呼ばれています。アークでは私が一番大きかったけど、ここでは一番小さいの。私の仕事は公園に遊びに来るチビっ子達のお相手、つまり客寄せ。結構人気者なのデス。右のサラブレッド君はホースメン、ホープさんといって今年24才、人間ならば80を過ぎたおじいさん。若い時レースで福永洋一騎手（人気ジョッキー祐一さんのお父さん）を乗せてかなり賞金を稼いだし、7才で競馬を引退してここに来てからは時々オリバーさんを乗せて広い馬場を駆け回ったそうです。振り落としたかどうかはヒミツですって。。天高くウマ肥ゆる秋、近くに来たときはぜひ一度私の顔を見に寄って下さいね。お待ちしてまーす。アークにいたころよりずっと美人になりました。引き馬や体験乗馬（要予約 06-915-0034）も出来ますヨ。

